



1_11 区小坂橋梨夢選手(猪苗代中3年) 2_4 区小檜山利輝選手(東洋大2年) 3_2 区安部諒嘉選手(田村高2年) 4_14 区大島丈選手(会津学鳳高1年) 5_16 区五十嵐修一選手(ネクスリア東日本) 6_9 区鈴木もえ選手(吾妻中3年) 7_12 区國分伊三郎選手(会津若松消防署) 8_1 区長峰沙弥選手(猪苗代中3年)

9_5 区古川陽斗選手(若松商業高3年) 10_13 区小鮎響暉選手(会津工業高2年) 11_3 区大橋清陽選手(猪苗代中3年) 12_6 区鈴木有人選手(猪苗代高1年) 13_7 区笠間莉斗選手(猪苗代中2年) 14_15 区鈴木沙羅選手(会津学鳳中3年) 15_8 区佐藤真央選手(東中3年) 16_10 区影山裕選手(猪苗代消防署)

選手たちが奮闘 町の部6位入賞

第31回ふくしま駅伝

【Interview】



大橋 清陽 選手

「チーム一丸で取り組んだ」

3区で町の部区間賞を獲得することができましたが、区間総合では2位となり、個人的には悔しさもあります。町の部で入賞できたのは、今回走れなかった人や応援してくれる人たちも含めて、これまでチーム一丸となって練習に取り組んできた成果だと思います。



五十嵐修一 選手

「来年は町の部優勝目指す」

昨年大学を卒業して就職したこともあり、練習不足ではありましたが、初めてアンカーを務めさせていただきました。来年は町の部優勝を目指して、チームに貢献できる走りをしたいです。できれば、またアンカーで走りたいですね。

第31回市町村対抗県縦断駅伝競争大会(ふくしま駅伝)は11月17日、白河市のしらかわカールスポーツパーク陸上競技場をスタートし、福島市の県庁前にフィニッシュする16区間、94・8キロのコースで繰り広げられました。大会には県内53チームが参加しました。

大会前日には開会式が行われ、コーチの五十嵐史朗さん(五十嵐石材店)が20回連続出場表彰を受けました。

レースは1区、大学生や高校生などの女子エースがひしめく中、長峰沙弥選手(猪苗代中3年)が懸命の走りを見せます。男子高校生のエース級がそろう2区で安部諒嘉選手(田村高2年)が流れを作ると、3区の大橋清陽選手(猪苗代中3年)が町の部区間賞、区間総合2位の快走を見せます。続く4区では、小檜山利輝選手(東洋大2年)が全体の6位まで順位を上げます。

その後徐々に順位を落としますが、各選手が奮闘してタスキをつなぎます。最終16区では2年ぶり、11回目の出場となる五十嵐修一選手(ネクスリア東日本)が力走。町の部6位、総合15位でフィニッシュしました。